

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中  
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成24年4月11日

## 温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
徳島県県有林 CO2吸収プロジェクト			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	徳島県(トクシマケン)		
住所	徳島市万代町1丁目1番地		
代表者氏名	飯泉 嘉門	代表者役職	徳島県知事
担当者氏名	堤 祐治	担当者 所属部署・役職	徳島県林業飛躍局 林業戦略課 主任
担当者 E-mail	tsutsumi_yuuji_1@pref.tokushima.lg.jp	担当者電話番号	088-621-2457
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	徳島県		
プロジェクト参加者名	海部森林組合 日和佐森林組合		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	徳島県		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	一般財団法人日本品質保証機構(JQA)		
検証機関名	一般財団法人日本品質保証機構(JQA)		

プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4ケタ)	0188
プロジェクト登録日	平成24年2月28日
プロジェクト概要 <sup>1</sup>	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p><b>【プロジェクトの目的・内容】</b>                      本県県有林は、明治36年に設置されて以来、県内の森林整備の模範となるべく、先導的な事業を実施してきたところであり、森林が温室効果ガスの吸収材として大きく注目されている現在、時代の要請に対応すべく、J-VER 制度に取り組むこととした。</p> <p>本プロジェクトは、徳島県の県南部に位置する海陽町の相川、中山、大井、玉笠、牟岐町の牟岐、美波町の山河内の各県有林を対象地としている。これら県有林では持続的な管理・経営のためスギ・ヒノキ人工林を森林施業計画に基づき適切に間伐し、健全な森林を維持するとともに、活発な光合成によるCO<sub>2</sub>の吸収を促進することに努める。</p> <p>また、この取組みにより取得・販売するオフセット・クレジットを活用し、県内森林の模範林として、森林資源の循環性、公益性を最大限に発揮する森林整備を実施し、素材生産とその利用によるCO<sub>2</sub>の固定と山村地域の雇用の創出、林業後継者の育成も併せて図ることとする。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b>                      条件1 森林法第 5 条に定める森林である。                      条件2 3項目をすべて満たしている。                      条件3 市町村による認定を受けている。                     <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</span>                     すべて基準を満たしている。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b>                      森林林業基本法第 9 条, 森林法第 11 条, 間伐促進法に該当し, 全て遵守している。</p> <p><b>【採用技術】</b>                      面積測量はポケットコンパス, 巻尺, バーテックス, レーザーコンパスを使用                      樹高測定にはバーテックス, レーザーコンパスを使用                      胸高直径測定には輪尺を使用</p> <p><b>【モニタリング方法】</b>                      モニタリング方法ガイドライン 森林管理プロジェクト用 ver. 3. 0に準拠し, 対象森林の 28小班についてモニタリングを実施している。</p> <p><b>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</b>                      すべて準拠する。</p>

<sup>1</sup> プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関することを3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

	<p><b>【モニタリング体制】</b></p> <p>森林整備の実施</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【森林整備事業発注者】</b></p> <p>徳島県 南部総合県民局</p> <p>■事業設計・積算・発注</p> <p>■完了検査</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">                 発注 → ← 完了報告             </td> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【森林整備実施者】</b></p> <p>海部森林組合 日和佐森林組合</p> <p>■森林整備の実施</p> </td> </tr> </table> <p>モニタリングの実施</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【吸収量測定者】</b></p> <p>徳島県 林業振興課 徳島県 南部総合県民局</p> <p>■現地計測 (活動量・プロットの調査)</p> <p>■データ入力・算定</p> <p>■測定機器の校正管理</p> <p style="text-align: center;">指示 ↑ ↓ 報告</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">                 監査依頼 → ← 監査実施             </td> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【内部監査担当者】</b></p> <p>林業振興課 森林企画担当課長補佐</p> <p>■測定データの確認</p> <p>■吸収量算定の確認</p> <p>■内部監査資料の保管</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定担当者】</b></p> <p>林業振興課 公有林化担当者</p> <p>■吸収量の算定</p> <p>■測定データの確認</p> <p>■モニタリング報告書の作成</p> <p>■モニタリング記録の保管・管理</p> <p style="text-align: center;">指示 ↑ ↓ 報告書の提出</p> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定確認者】</b></p> <p>林業振興課 公有林化担当課長補佐</p> <p>■モニタリング報告書の確認</p> <p>■吸収量算定値の確認</p> <p style="text-align: center;">承認 ↑ ↓ 報告</p> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定責任者】</b></p> <p>徳島県 林業振興課長</p> <p>■算定内容確認</p> <p>■モニタリング報告書の承認</p> </td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;"><b>【森林整備事業発注者】</b></p> <p>徳島県 南部総合県民局</p> <p>■事業設計・積算・発注</p> <p>■完了検査</p>	発注 → ← 完了報告	<p style="text-align: center;"><b>【森林整備実施者】</b></p> <p>海部森林組合 日和佐森林組合</p> <p>■森林整備の実施</p>	<p style="text-align: center;"><b>【吸収量測定者】</b></p> <p>徳島県 林業振興課 徳島県 南部総合県民局</p> <p>■現地計測 (活動量・プロットの調査)</p> <p>■データ入力・算定</p> <p>■測定機器の校正管理</p> <p style="text-align: center;">指示 ↑ ↓ 報告</p>	監査依頼 → ← 監査実施	<p style="text-align: center;"><b>【内部監査担当者】</b></p> <p>林業振興課 森林企画担当課長補佐</p> <p>■測定データの確認</p> <p>■吸収量算定の確認</p> <p>■内部監査資料の保管</p>	<p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定担当者】</b></p> <p>林業振興課 公有林化担当者</p> <p>■吸収量の算定</p> <p>■測定データの確認</p> <p>■モニタリング報告書の作成</p> <p>■モニタリング記録の保管・管理</p> <p style="text-align: center;">指示 ↑ ↓ 報告書の提出</p>			<p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定確認者】</b></p> <p>林業振興課 公有林化担当課長補佐</p> <p>■モニタリング報告書の確認</p> <p>■吸収量算定値の確認</p> <p style="text-align: center;">承認 ↑ ↓ 報告</p>			<p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定責任者】</b></p> <p>徳島県 林業振興課長</p> <p>■算定内容確認</p> <p>■モニタリング報告書の承認</p>		
<p style="text-align: center;"><b>【森林整備事業発注者】</b></p> <p>徳島県 南部総合県民局</p> <p>■事業設計・積算・発注</p> <p>■完了検査</p>	発注 → ← 完了報告	<p style="text-align: center;"><b>【森林整備実施者】</b></p> <p>海部森林組合 日和佐森林組合</p> <p>■森林整備の実施</p>														
<p style="text-align: center;"><b>【吸収量測定者】</b></p> <p>徳島県 林業振興課 徳島県 南部総合県民局</p> <p>■現地計測 (活動量・プロットの調査)</p> <p>■データ入力・算定</p> <p>■測定機器の校正管理</p> <p style="text-align: center;">指示 ↑ ↓ 報告</p>	監査依頼 → ← 監査実施	<p style="text-align: center;"><b>【内部監査担当者】</b></p> <p>林業振興課 森林企画担当課長補佐</p> <p>■測定データの確認</p> <p>■吸収量算定の確認</p> <p>■内部監査資料の保管</p>														
<p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定担当者】</b></p> <p>林業振興課 公有林化担当者</p> <p>■吸収量の算定</p> <p>■測定データの確認</p> <p>■モニタリング報告書の作成</p> <p>■モニタリング記録の保管・管理</p> <p style="text-align: center;">指示 ↑ ↓ 報告書の提出</p>																
<p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定確認者】</b></p> <p>林業振興課 公有林化担当課長補佐</p> <p>■モニタリング報告書の確認</p> <p>■吸収量算定値の確認</p> <p style="text-align: center;">承認 ↑ ↓ 報告</p>																
<p style="text-align: center;"><b>【吸収量算定責任者】</b></p> <p>徳島県 林業振興課長</p> <p>■算定内容確認</p> <p>■モニタリング報告書の承認</p>																
	<p><b>【QA / QC 体制】</b></p> <p>・教育・訓練の実施</p> <p>第1回(H23.10.10-11) 第2回(H23.11.14-15) 第3回(H24.1.10-12)</p> <p>・情報の保管</p> <p>野帳・図面・データは担当内で保存し、保存期限は平成 35 年 3 月 31 日までとする。</p> <p>・データの確認</p> <p>測量データの取得は複数回実施し、パソコンへのデータ入力も複数の者で確認した。</p> <p>・内部監査</p> <p>林業振興課森林企画担当課長補佐を監査員として監査を実施した。</p> <p>不適合項目は認められなかった。</p> <p>機器校正</p> <p>取扱説明書に基づき、使用前にキャリブレーションを実施した。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p>															
<p>モニタリング結果概要<sup>2</sup></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p>															

<sup>2</sup> モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン ( 森林管理 プロジェクト用) ver.3. 0						
適用方法論	方法論番号	No. R. 001 ver. 4. 1					
	方法論名称	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)					
モニタリング結果							
モニタリング期間	2010年 4月 1日 ~ 2011年 3月31日						
<方法論R001・R002・R003のみ>							
モニタリング対象面積	99. 84ha						
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2			886			886
認証依頼削減・吸収量	886 t-CO2 <sup>3</sup>						

<sup>3</sup> 合計の値から小数点以下を切り捨て、トン単位で記載してください。

ダブルカウントの防止の措置	
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	<p>【ダブルカウント防止措置を講ずる事業者名】</p> 事業者名： <u>徳島県</u>
ダブルカウントの防止措置内容	<p>以下、該当する場合は、口に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。 (オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p>【①類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 以下の類似制度(電力における RPS 法を含む)に申請しています</p> <p style="padding-left: 40px;">類似制度名： <u>とくしま協働の森づくり事業</u></p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p style="padding-left: 40px;">とくしま協働の森づくり事業の対象となる森林は本プロジェクトの対象と 理由： <u>しないため、ダブルカウントは生じない。</u></p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※ 第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要がある。</p>

	<p><b>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)を明記します。</p> <p>あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ ホームページ URL: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 出版物 (環境報告書/定期刊行物)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p><b>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画(区域施策)の策定義務対象者(都道府県)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。 制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p>
--	--

ダブルカウント防止措置責任者（プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要）			
事業者名	徳島県(プロジェクト代表事業者と同様)		印
住所			
代表者氏名		代表者役職	
担当者氏名		担当者 所属部署・役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
備考欄			

以 上